

---

# 第三期大野市環境基本計画 重点施策の推進状況

---

第三期大野市環境基本計画の重点施策ごとの、取組状況とその成果、数値目標の達成状況を取りまとめます。

## 基本目標 1 自然との共生社会の形成

### 令和12年（2030年）に向けた目標

- 先人から受け継がれてきた、生活に安らぎと彩りを与えてくれる豊かな自然環境を次世代に伝えるため、市民一人一人の力を合わせて守ります。
- 大野市の魅力の一つでもある豊かな自然に、世代を問わずふれあうことのできる場と機会を創出します。
- 豊かな自然を地域資源と捉え、道の駅「越前おおの 荒島の郷(さと)」を活用したアウトドアの推進や体験型の観光プログラムによる都市との交流などにより地域振興を図ります。
- 多様な生き物が生息する自然環境を保全するため、生態系の基盤である水循環の健全化に向け、流域マネジメントを推進します。

### 令和4年度の取組状況

#### 施策の基本方針 生物の多様性の確保

#### 重点施策 身近な自然とふれあう活動の推進

#### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 自然環境に対する関心を高める取り組みの推進	<p>(臨) 四季、天空の城それぞれをテーマにした観光ポスター5種類を制作した。</p> <p>(臨) 「桃木峠の大杉」ポスターとチラシ制作（阪谷）</p> <p>(継) イトヨ観察会（3回・参加者122人）を実施した。</p> <p>(継) 総合観光パンフレット、山ガイドを製作し配布した。</p> <p>(継) インスタグラムにて「#まいおおのフォトコンテスト」を開催し、市内の魅力ある風景を情報発信した。第5回（R4.7-R5.6）投稿数2,265点。</p>
(2) 身近な自然の保全・再生とふれあいの場の提供	<p>(新) 和泉郷土資料館の壁に恐竜トリックアートを描くとともに、展示室を恐竜や化石に特化したものにリニューアルした。合わせて、施設の愛称を募集し「くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ」に決定した。</p> <p>(新) 旧大野簡易裁判所跡地に大手門広場を新たに整備。広場には親水箇所を設けて水の見えるまちづくりを推進した。</p> <p>(拡) 本願清水イトヨの里の改修工事（展示内容リニューアルほか）を実施（～R5）</p>

<p>(2) 身近な自然の保全・再生とふれあいの場の提供</p>	<p>(臨)「HOROSSA!」5周年記念イベントを実施(現地発掘体験・講演会)</p> <p>(継)地下水を保全する取り組みとして、水田湛水や地下水質検査、地下水位観測のほか、大学と連携して調査研究を実施した。</p> <p>(継)小池公園、麻那姫湖青少年旅行村等のキャンプ場、登山道を適正に管理し、提供した。</p> <p>(継)化石保護監視員(10人)のパトロール等により化石産出地保護を実施した。</p>
<p>(3) 自然や生き物とふれあう機会の提供</p>	<p>(新)「いきいきわくわく学習事業」において、各公民館で子どもが地域の自然を体験する講座等を開催した(5公民館、26回、421人参加)</p> <p>(継)真名川などで、水辺の自然とふれあう「自然ふれあい探検隊」を実施した。(3回 児童56人、保護者52人参加)</p> <p>(継)学芸員が解説しながら和泉地区の地層・化石産出地を見学する「地層観察会」(1回)開催した。</p> <p>(継)食育フェスタを開催し地産地消や食育を啓発した。</p>
<p>(4) 自然とのふれあい活動を行う人材育成の推進</p>	<p>(継)森づくり団体や地域の自然保全団体を支援した(活動費補助)。</p> <p>(継)幅広い世代の方々に対して、水循環への認識と理解が進むよう、対象者を「高校生以上」「中学生」「小学生」の3つに分けて、様々な年代やニーズに対応した講座を開催した。(延べ9回 132人参加)</p>

## 重点施策 野生動植物の保全

### 取組状況と成果

取組み	実績
<p>(1) 生物多様性の保全</p>	<p>(継)大野市水循環推進協議会において、大野市水循環基本計画に基づくそれぞれの取組(流域マネジメントの実施主体(国・県・市・市内関係団体)による生息地の保全など)について情報共有した。</p> <p>(拡)本願清水イトヨの里の展示内容をリニューアルするとともに、リニューアルオープンセレモニーと記念講演を実施し、周知を図った。</p> <p>(継)本願清水イトヨの里において、稀少生物であるイトヨの観察や展示による生物多様性の啓発に取り組んだ。</p>

(2) 地域ぐるみによる有害鳥獣対策の促進	(継) 地区が取り組む電気柵整備に対する補助や猟友会による有害鳥獣の捕獲に取り組んだ。また、人材育成として狩猟免許の新規取得を支援(受験料補助)した。
(3) 市民協働による外来生物の防除対策	(拡) 本願清水イトヨの里のリニューアルに合わせて、外来生物の駆除推進啓発の展示を刷新した。 (継) 市漁業協同組合の活動(九頭竜湖での関係機関共同駆除活動)支援を通じ、駆除活動を促進した。 (継) 本願清水において、アメリカザリガニの駆除を実施したほか、コクチバス等の外来生物の防除を実施した。 (コクチバス・ブラックバス 生息確認無し、アメリカザリガニ 28匹)

## 重点施策 地域資源の活用

### 取組状況と成果

取組み	実績
(1) 魅力ある自然環境の観光活用	(継) 道の駅「越前おおの 荒島の郷」で、カヌーやクライミング体験によるアクティビティを提供し、大野のにぎわい・経済活力の増進につなげた。 ・クライミング体験者数 1,084人 ・カヌー体験者数 2,229人 (継) 六呂師地区において、福井工業大学に委託し、新たな星空観光の創出を行った他、観光事業者が実施する星空バスツアーに補助した。 (臨) 市有施設の光害対策改修工事 51基
(2) 豊かな自然の恵みの経済活用	(継) 「越前おおの水のがっこう」を活用した遠足を誘致し、大野の「水」に関する学習や体験の場を提供した。 (継) バイオマス発電所への間伐材搬出を支援(補助)した。 (継) 都市圏を中心としたイベント出店、WEB広告の活用などにより特産品の販路拡大とPRを実施した。(県外ブランドセールス実施回数6回)

### 数値目標及び達成状況

生物多様性の認知度(生物多様性について意味を知っている市民の割合)(%)

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
-	-	-	-	55	60

イトヨの里の入館者数（人）

R元年度 （基準値）	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度		R 7 年度 （中間目標）	R 1 2 年度 （最終目標）
9,688	5,814	6,132	6,490		10,650	11,600

## 令和4年度の取組状況

### 施策の基本方針

### 自然環境の体系的保全

### 重点施策

### 農地（里地）の保全と活用

#### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 地域による農地の保全	(継) 地域単位での農地集約化支援(集積協力金交付)、農地パトロールの実施、新規就農者サポートに取り組んだ。
(2) 環境調和型農業の促進	(継) 化学肥料や農薬の低減など環境保全型農業への取り組みに対する助成や、有機 JAS 認定の支援(経費の一部を補助)に取り組んだ。

### 重点施策

### 山林（里山）の保全と活用

#### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 森林の保全	(継) 森林経営管理制度(森林所有者と民間事業者をつなぐ制度)の活用を促進するため、森林経営が実施されていない森林の所有者に対する意向調査を実施した。
(2) 森林資源の利活用促進	(継) バイオマス発電所への搬出を支援(補助)することで、間伐を促進した。(再掲) (継) 子どもたちが木製品にふれる機会を作ることを目的に、こども園や保育所への木製品導入を支援(補助)した。 (実績: 民間 10 園・公立 6 施設) (継) 小学校から苗木を回収し、どんぐり広場へ移植する「どんぐりの里親事業」を実施した。

#### 数値目標及び達成状況

##### 耕作放棄地の面積 (ha)

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
3.0	4.0	1.3	2.5		3.6以下	4.1以下

##### 森林整備面積(間伐)(ha)

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
341	405	294	225		358	375

## 基本目標 2 低炭素社会の実現

### 令和12年（2030年）に向けた目標

- 温室効果ガス削減成果の見える化や削減対策を楽しく学ぶ取り組みなど、地球温暖化防止の啓発を推進し、低炭素型のエコライフや事業活動の定着を目指します。
- 木質バイオマスや水力など、地域資源を活用しつつ、周囲の自然や環境との調和のとれた再生可能エネルギーの利用を推進します。
- 既に現れている気候変動の影響や中長期的に避けられない影響を予測し備える「適応策」を推進します。

### 令和4年度の取組状況

#### 施策の基本方針 地球環境の保全

#### 重点施策 脱炭素に向けた行動の促進

#### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 低炭素型エコライフや事業活動の促進	<p>(継) 県が実施する「エコチャレふくい」や「クール・ウォームシェアふくい」「省エネ家電・住宅設備買替キャンペーン」などの取り組みを活用し、市民の低炭素なエコライフを啓発した。</p> <p>(継) 「Eco落語」「Eco遊園地」「Eco紙芝居」など「遊び」や「文化」を取り入れた普及啓発に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ Eco落語 3校×1回 207人(中1)</li><li>・ Eco紙芝居 放課後子どもクラブ5か所、和泉児童館 計95人</li><li>・ Eco遊園地 11月5・6日 482人</li><li>・ 親子自然エネルギー教室 2回 27組 61人</li></ul> <p>(継) 結のEco協賛店を募集・登録し、一覧表にとりまとめ、講座やイベントで、啓発パンフレットとセットで配布した。(登録店舗数：48店舗)</p> <p>(臨) 中部地方ESD活動支援センター主催の「地域づくりのための気候変動教育」セミナーを大野市で開催し、脱炭素人材の育成を図った。</p> <p>(参加者 社会教育・学校教育指導者等 20人)</p>

## 重点施策

## 脱炭素型のまちづくりの推進

### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 公共施設等の脱炭素化の推進	<p>(継)空調など設備更新予定の施設を省エネ診断し、設備の効果的な更新方法を検討した。(あっ宝んど・消防庁舎)</p> <p>(継)地区に対し更新費を補助するなど、防犯灯のLED化に取り組んだ。(補助実績：91件 326灯)</p> <p>(臨)太陽光発電設備の導入可能性調査を実施した。(簡易調査 33施設、詳細調査 5施設)</p>
(2) 公共交通等の利用促進	<p>(継)越美北線の団体利用、回数券利用、定期券利用に対し運賃助成した。(団体利用 32件、回数券利用 134件、定期券利用 306件)</p> <p>(継)65歳以上の市民を対象に、京福バスの市内区間運賃が100円となるよう助成した。(1,314件)</p> <p>(新)自転車の活用を促進するため、サイクリングやメンテナンスの教室を開催した。(3回 14人)</p>

## 重点施策

## 気候変動適応策の推進

### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 自然環境に与える影響の把握	<p>(継)大学と連携して地下水の水温や水位を継続的に観測するなど、気温や降水量の変化が地下水に与える影響について調査研究した。</p> <p>(継)稲作の品質を維持するため、県・JAと連携し、水稻の登熟期が高温期と重ならないよう田植を5月以降にするよう指導した。</p> <p>(継)市ホームページ、広報おおののほか、健康教育や各種イベントで熱中症対策について注意喚起した。</p>
(2) 自然災害対策の推進	<p>(継)九頭竜川流域治水協議会(事務局：福井河川国道事務所)に参画し、国・県・関係機関と協議・情報交換を行った。</p>

### 数値目標及び達成状況

大野市内の温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>換算)(千t-CO<sub>2</sub>)

H29年度 (基準値)	H30年度	R元年度	令和2年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
302 (321)	299	272	237		274	231

統計データ等の見直しに伴う修正(国)

大野市の事務事業におけるエネルギー使用量（原油換算）(kl)

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
4,554	4,144	4,722	4,525		4,441	4,326

ゼロカーボン施設の数（公共施設）(施設数)

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
0	0	0	0		3	5

令和4年度の取組状況

施策の基本方針

資源及びエネルギーの有効利用

重点施策

省エネルギーの推進

取組状況と成果

取り組み	実績
(1)住宅・建物部門における省エネの推進	(継)エコ住宅を手掛ける工務店や設計事務所等を結のEco協賛店として募集・登録し、一覧表にとりまとめ、講座やイベントで、啓発パンフレットとセットで配布した。(再掲) (登録店舗数(エコ住宅関係) 23店舗)
(2)産業・農業部門における省エネの推進	(新)市内の中小企業及び個人事業主等の脱炭素経営に向けた取組を支援するため、省エネルギー診断料を助成した。(実績 1件) (継)焼却処分の必要がない生分解性マルチを、特産作物であるサトイモに使用する場合に購入費用の一部を補助した。(補助実績：生分解性マルチ 597本分)
(3)運輸部門における省エネの推進	(新)市内イベントにて「エコドライブ体験コーナー」を設置し、自家用車からでるCO2排出量の削減を図った。(3日間 体験者71人) (継)エコカーを扱う自動車販売店等を結のEco協賛店として募集・登録し、一覧表にとりまとめ、講座やイベントで、啓発パンフレットとセットで配布した。(再掲) (登録店舗数(エコカー関係) 20店舗) (継)JR越美北線や私営路線バスの利用に対し助成するなど公共交通の利用促進を図った。(再掲)

## 取組状況と成果

取り組み	実績
(1)再生可能エネルギーの利用促進	(継)新たに作成したパンフレットにおいて再エネ電力について紹介したほか、市内で太陽光発電設備等を扱う事業者を結のEco協賛店として登録し、市民に周知した。 (再掲) (継)ファミリーリゾート休養施設「うらら館」の木質バイオマスボイラ整備事業を実施した。(～R5)
(2)木質バイオマスの利用促進	(継)バイオマス発電所への間伐材の搬出を支援(補助)した。 (再掲)

## 数値目標及び達成状況

木質バイオマス発電に活用した間伐材の量(補助数)( $m^3$ )

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
7,595	9,259	6,660	7,070		7,975	8,355

## 基本目標 3 資源循環型社会の構築

### 令和12年（2030年）に向けた目標

- 市内量販店及び地区と連携した資源ごみの回収や市民団体による啓発活動など、官民協働による3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再利用）が推進される資源循環型社会を構築します。
- 特に、燃やせるごみに占める割合が大きい紙ごみ（雑がみ）の分別徹底や、食品ロス削減の取り組みを強化するとともに、「脱プラスチック」を促進し、廃棄物の発生と処理費用を抑制します。

### 令和4年度の取組状況

#### 施策の基本方針 廃棄物の減量及びリサイクルの推進

#### 重点施策 3Rによるごみ排出量削減の推進

#### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) ごみ発生抑制の促進 (リデュース)	<p>(継) わく湧くお届け講座、小学生向け出前講座を実施し、ごみ削減の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>わく湧くお届け講座 2回 21人</p> <p>外国人技能実習生研修 8回 186人</p> <p>小学校出前講座 4回 107人</p> <p>(継) 市事務事業において、電子決裁や業務用アプリの導入、Wi-Fi環境整備により、ペーパーレスを実践した。(共用印刷機の印刷枚数 前年度比 20%)</p> <p>(臨) 市民団体と連携して、生ごみ処理機使用についてモニタリング調査を実施した。</p>
(2) 「モノ」を大切に する生活様式の定着化 (リユース)	<p>(継) 地域子育て支援センター及び子育て交流広場ちっく・たっくにおいて、「リサイクル市」を開催し、子育て用品のリユースを促進した。(実施回数 4回)</p>
(3) 分別回収の推進 (リサイクル)	<p>(継) リネットジャパンリサイクル株式会社と協定に基づき、パソコン・使用済み小型家電の宅配回収を実施した。 (申込 34件、回収 353.7kg)</p> <p>(継) 魚残(魚のあら)の資源化処理を促すため排出事業者に対し補助を行った。</p> <p>(継) 公共工事において、特記仕様書にリサイクル資材の使用やグリーン購入調達記録表の提出等の条件を明示した。</p>

## 重点施策

## 食品ロス削減の推進

### 取組状況と成果

取組み	実績
(1) 発生抑制のための普及啓発	(継) エシカル消費生活の理解を深めるため、地域福祉団体と連携し、高齢者を対象にエシカル消費者講座を実施した。(12回 160人参加) (継) 食守フェスタを開催し、食育や食品ロスの削減についてパネル展示を行った。(再掲)
(2) 協働による削減推進	(継) 福井県民生活協同組合と包括協定に基づき、同組合と連携して、市役所、各公民館、大野きらめきを回収拠点としたフードドライブを2回(6月、12月)実施した。 回収実績 乾麺、缶詰、インスタント・レトルト食品、お菓子などの食品 1,515点(重量 351kg) 米 799kg (継) 年末の忘年会シーズンに向け、県が進める「おいしいふくい食べきり運動」協力店を訪問し、協力依頼を行った。

## 重点施策

## プラスチックごみ削減の推進

### 取組状況と成果

取組み	実績
(1) プラスチック使用量削減の普及啓発	(継) わく湧くお届け講座、小学生向け出前講座を実施し、マイボトル・マイバッグの利用について啓発した。(再掲)
(2) プラスチックごみの分別回収方法の検討	(継) 大野・勝山地区広域行政事務組合、勝山市と連携し、分別回収の対象や方法について検討した。
(3) 再生材・バイオプラスチックの利用促進	(継) 県の「プラスチック代替製品利用促進補助金」の利用を市内事業者に周知した。

## 数値目標及び達成状況

市民1人1日当たりのごみ排出（g）

R元年度 （基準値）	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 （中間目標）	R12年度 （最終目標）
950	952	941	931		939	919

ごみの資源化率（%）

R元年度 （基準値）	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 （中間目標）	R12年度 （最終目標）
21.9	20.1	23.0	20.8		25.9	31.0

食品ロスの発生量（t）

R元年度 （基準値）	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 （中間目標）	R12年度 （最終目標）
898.5	865.6	1,212.8	1,064.4		762.9	627.2

## 基本目標 4 快適な生活環境の保全

### 令和12年（2030年）に向けた目標

- 法令に定められた排出基準や規制基準の遵守を徹底するとともに、市内河川における水質検査などのモニタリングを継続実施し、安全で安心な市民生活を守ります。
- 地域の草刈りや清掃など地域住民による活動を支援するとともに、市民が楽しみながら参加できる取り組みを通じて、環境美化を推進します。
- 城下町大野にふさわしい歴史を感じる街並み景観の保全と形成に取り組むとともに、大野らしい景観を育む里地里山の美しい自然景観の保全に取り組みます。

### 令和4年度の取組状況

#### 施策の基本方針 公害の防止

#### 重点施策 公害発生の防止

#### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 法令遵守の徹底	(継) 規制対象の既存工場や騒音等苦情のあった事業所に対し、県と連携して立ち入り検査や調査を実施するとともに、検査結果を踏まえた指導を実施した。 (継) 市内工場・事業所からの工場排水について水質検査を実施した。(検査数：4事業所)
(2) 監視体制の強化と情報提供	(継) 市内の11河川において水質検査(「水質汚濁に係る環境基準(環境省)」に示す「生活環境の保全に関する基準(4項目)」)を行った。 (継) 市内41か所の地下水を採取し、水道法で設定される40項目について年1回の水質検査を実施した。 (継) 野焼きや油漏れ、光化学スモッグなどの発生時の連絡体制を県・警察・市(環境・消防)で構築しており、苦情等に際し各体制に基づき連携して対応した。
(3) 生活雑排水対策の推進	(継) 公共下水道整備計画に基づき新たに27.9haを整備した (継) 公共下水道への加入を促進するため、公共下水道接続に係る工事費補助、工事資金借入に係る利子補給、戸別訪問による加入促進に取り組んだ。(訪問件数449件) (継) 合併処理浄化槽区域等において汚水処理人口の増加につながる合併浄化槽設置に対し、補助を実施した。

( 4 )化学物質の適正管理の促進	( 継 ) 県主催の農薬安全使用講習会への参加や県農薬管理指導士について周知するとともに、JAを通じて適正な農薬や肥料の管理及び使用、適切な土作りの啓発に努めた。
-------------------	---

## 重点施策

### 環境美化活動の促進

#### 取組状況と成果

取組み	実績
( 1 )市民協働による清掃活動の促進	( 継 ) 社会奉仕に伴い排出される草や河川汚泥をビュークリーンおくえつで無料受付したほか、トラック借上料への補助、河川汚泥の回収を実施し、地域での清掃活動を促進した。( 社会奉仕受け入れ回数 87 回 ) ( 継 ) 各公民館において、一斉清掃や地区の花壇や植栽の維持管理の取組みを支援した。 ( 継 ) 市内河川の清掃や草刈を委託または補助により実施した。( 委託 14 団体、補助 39 団体 )

## 重点施策

### 野外焼却、不法投棄の防止

#### 取組状況と成果

取組み	実績
( 1 ) 普及啓発の促進	( 継 ) 基準を満たしていない野外焼却炉の使用人や野外焼却炉の間違った使用をしている者に対し、指導した。( 産廃の場合は県と合同で指導 ) ( 継 ) 「環境月間」( 6 月 ) に不法投棄及び野外焼却について広報おおのに啓発記事を掲載した。 ( 継 ) 火災気象通報発令時には消防車両により警戒広報 ( パトロール ) を実施し、野焼きの抑制を図った。( 64 回 )
( 2 ) 早期発見、再発防止	( 継 ) 地区から推薦を受けた住民を環境監視員に委嘱し、不法投棄物などの早期発見を目的としたパトロールを行った。( のべ 107 回 ) ( 継 ) 毎月 1 回程度、県奥越健康福祉センターと合同でパトロールを行った。 ( 継 ) 野外焼却や不法投棄の行為者が判明した場合は、警察や消防と連携して指導等を行った。( 市出動 13 回 )

## 数値目標及び達成状況

水質基準を達成した河川の数（河川数）

（県及び市が実施する 11 河川の水質検査結果において、環境基本計画で設定した水質基準を満たした河川数）

R元年度 （基準値）	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度		R 7 年度 （中間目標）	R 1 2 年度 （最終目標）
11	11	11	10		11	11

水洗化率（％）

（公共下水道、農業集落排水処理施設の加入人口、合併処理浄化槽設置人口（それぞれの区域内人口））/人口

R元年度 （基準値）	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度		R 7 年度 （中間目標）	R 1 2 年度 （最終目標）
44.1	45.8	46.8	47.9		52.4	60.7

## 令和 4 年度 の 取組 状況

### 施策の基本方針

### 良好な景観形成及び歴史的、文化的遺産の保存

### 重点施策

### 良好な景観形成

## 取組状況と成果

取り組み	実績
（ 1 ）街並み景観の保全と形成	（継）七間通り、五番通り、寺町通りを景観形成地区に指定し、構築物の設置や家屋の改修に対して支援（補助）し、景観の誘導を行った。（R4 実績なし）
（ 2 ）自然景観の保全	（継）森づくり活動を行う市民団体の活動へ補助金を交付し支援した。（再掲） （継）インスタグラムにて「#まいおおのフォトコンテスト」を開催し、市内の魅力ある風景を情報発信した。（再掲）
（ 3 ）星空景観の保全	（継）光害対策照明計画を作成し、星空観測データを収集した。 （継）小学校で光害に関する出前講座を実施した。（ 2 回） （継）ライトダウンの実施を市民及び市内事業者に呼び掛けた。（統一実施日 3 回 賛同事業者数 55 者） （臨）南六呂師地区に光害対策防犯灯 51 基を整備した。（再掲）
（ 4 ）公共施設の景観整備	（臨）新たに整備した大手門広場では、周辺の景観との調和や湧水地などの環境を損なわないような広場整備とした。

## 重点施策

## 歴史的、文化的遺産の保存

### 取組状況と成果

取組み	実績
(1)文化財とその周辺の保全対策の実施	(継)国・県・市指定文化財等所有者や管理者の負担軽減するため、文化財の修理等に対し補助を実施した。(R3 実績：南専寺山門(県指定文化財)修理(R2-R4)) (継)文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に対し、事業計画及び現地状況の確認、必要に応じて試掘調査や工事の立ち合いを行った。(実績：2)
(2)伝統文化の継承の推進	(継)伝統文化を「おおの遺産」として認証するとともに、保存や継承に必要な経費に対して補助金を交付した。 (新規認証 2件) ・新四国八十八ヶ所お砂踏み法要 ・水神さんの参詣
(3)郷土の歴史や文化の魅力の発信	(継)歴史博物館、民俗資料館において郷土の歴史・民俗に関する展示やワークショップ、講座の開催に取り組んだ。また、各地区や団体の講座や講演会に学芸員派遣した。 ・博物館講座 6回 参加者 113人 ・学芸員派遣 22回 参加者 577人 (継)クイズビンゴやフォトスポットの設置など、歴史文化施設9館が連携して、効果的な周遊企画を実施した。「クイズビンゴ」参加者(4,535人)

## 重点施策

## 公園や空き家、空き地の適正管理の促進

### 取組状況と成果

取組み	実績
(1)空き家対策の推進	(継)空き家リーフレットやHPによる啓発、空き家相談会の開催に取り組む、空き家所有者に適正な空き家管理を周知した。(相談会 2回 相談件数 21件) (継)空き家の利活用相談者に対し、県宅建協会や市内の宅建業者等を紹介して、売却等を促したほか、老朽化した危険な空き家は、解体費を補助し、除却を促した。 (解体補助実績 8件) (継)希望のあった空き家情報を空き家バンクに掲載した。 (新規登録 26件、成約 18件)

( 2 )空き地の適正管理の促進	( 継 )樹木、雑草が繁茂している空き家の所有者に対して、指導等を実施した。( 苦情件数 3 件 )
( 3 )公園の適正管理	( 継 )公園のある自治会等に管理を委託した。 ( 臨 )危険な施設 ( 遊具など ) の撤去 2 カ所、補修 1 カ所

### 数値目標及び達成状況

存在する特定空家等の件数 ( 件 )

R 元年度 ( 基準値 )	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度		R 7 年度 ( 中間目標 )	R 1 2 年度 ( 最終目標 )
16	16	15	17		0	0

## 基本目標 5 総合的な取り組みの推進

### 令和12年（2030年）に向けた目標

- 持続可能な社会の担い手を育む教育を学校だけでなく、地域や社会、職場など幅広い場において推進し、あらゆる世代による環境学習を促進します。
- 人口減少や少子化、高齢化を踏まえ、学校や市民、団体、行政など環境教育や環境学習を担う各主体との連携強化を図るとともに、市民協働により自然環境の保全や地域の特性を生かした取り組みを進めます。
- 環境に関する情報を収集するとともに、SNSなどを活用し、市民や団体、事業者との情報共有を図ります。

### 令和4年度の取組状況

#### 施策の基本方針 総合的な環境対策

#### 重点施策 持続可能な社会の担い手を育む教育の推進

#### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 学校教育における環境教育の推進	(継)各校で環境教育計画を作成し、体験学習や野外学習を実施した。 (臨)中部地方 ESD 活動支援センター主催の「地域づくりのための気候変動教育」セミナーを大野で開催し、脱炭素人材の育成を図った。(再掲) (参加者 学校教育指導者 6人)
(2) 社会教育における環境教育の推進	(継)公民館を拠点に、地域団体により環境美化活動や自然体験活動を実施した。 (臨)中部地方 ESD 活動支援センター主催の「地域づくりのための気候変動教育」セミナーを大野で開催し、脱炭素人材の育成を図った。(再掲) (参加者 社会教育指導者 11人)

( 3 )環境学習の機会の充実	<p>( 継 ) 「低炭素社会の実現」「循環型社会の構築」それぞれにおいて出前講座を実施した。</p> <p>( R4 実績 )</p> <p>「循環型社会」 わく湧くお届け講座 2 回 21 人  外国人技能実習生研修 8 回 186 人  小学校出前講座 4 回 107 人</p> <p>「低炭素社会」 わく湧くお届け講座 2 回 4 5 人</p> <p>( 継 ) 中学生向けの環境教育として、地球温暖化問題について学ぶ「E c o 落語」を市内中学校 ( 3 校 ) において実施した。( 再掲 )</p> <p>( 継 ) 地下水の賦存量や流動系解明について、大学との共同研究の成果を報告する報告会を開催した。</p>
-----------------	--

**重点施策**      **市民協働の取り組みの推進**

**取組状況と成果**

取組み	実 績
( 1 ) 市民等との協働推進	<p>( 継 ) 環境美化活動やキャンプ等自然体験活動など、地域の活性化や地域活力の維持、課題解決に効果が期待できる取り組みやコミュニティ会館などを利用してさまざまな世代の方が交流できる事業に対して助成した。( 結の故郷地域が輝く交付金事業 )</p> <p>( 継 ) 市内小中学校及び公民館に対し、県・広域連携の環境アドバイザー制度と共に、講師派遣制度を周知し、専門的な学習機会の実施を促した。</p> <p>( 継 ) 社会奉仕に伴い排出される草をビュークリーンおくえつで無料受付したほか、トラック借上料の補助、河川汚泥の回収を実施し、地域での清掃活動を促進した。( 再掲 )</p> <p>( 継 ) 本願清水イトヨの里において、地域住民らによる奉仕作業( イトヨの里周辺の草刈り ) の受入や有終南小学校( 3 年 ) の総合学習発表に協力し、地域住民や児童による保全活動を推進した。</p> <p>( 継 ) 関西大学との連携事業の一環で、生ごみをミミズに食べさせて処理するミミズコンポストを横町スタジオに設置し、近隣住民が利用する取り組みを実施した。</p>
( 2 ) 環境に配慮できる人材、企業の育成	<p>( 継 ) 各地区から推薦された環境監視員に対し、ごみ分別や不法投棄に関する専門的な講習会を開催し、環境保全推進に係るリーダーの育成を図った。( 再掲 )</p>

## 重点施策

## 環境情報の収集と共有化

### 取組状況と成果

取り組み	実績
(1) 環境情報の充実化	<p>(継)図書館にて環境関連の特設コーナーの設置や自然学習の場を提供した。</p> <p>(継)水のがっこうにおいて、関係書籍を収集するとともに、水のがっこう利用者に対し、展示物や書籍等を自由に閲覧してもらうことで、成果の共有を図った。</p>
(2) 創意工夫による情報発信	<p>(継)「環境月間」である6月に「不法投棄」「野焼き」の禁止と「ごみ分別」について普及啓発記事を広報おおのに掲載した。</p> <p>(継)市LINEの登録者に対し、翌日に収集されるごみの種類を配信するサービスを実施した。</p> <p>(臨)「チャレンジゼロカーボン！」と題し、市民が実践できる脱炭素の取り組みを中心に、特集記事を全20回(R4は11回)シリーズで、広報おおのに掲載した。</p> <p>(臨)国際ダークスカイ協会東京支部の主催により、大野市において、星空保護区の認定に向けて、星空や光害対策、星空保護区の制度について学ぶシンポジウムを開催した。</p>

### 数値目標及び達成状況

環境に関する出前講座等の受講者数(人)

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
281	295	161	353		330	385

環境アドバイザー等の派遣回数(回)

R元年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度 (中間目標)	R12年度 (最終目標)
6	5	5	4		14	22